

2021年6月18日

オリンピック・パラリンピックボランティアに参加を予定している学生のみなさん

成蹊大学ボランティア支援センター
所長 光田 剛

このメッセージは、東京オリンピック・パラリンピックボランティアに応募・活動を予定している学生のみなさんにお送りします。

みなさんが東京オリンピック・パラリンピックボランティアに応募された理由はさまざまだと思います。スポーツを通じて平和な世界を実現したいというオリンピック運動の理念に共感された方もいらっしゃるでしょうし、スポーツにかかわるボランティアをしたいという思いから応募された方もいらっしゃるでしょう。

また、国際的な大会で、自分の国際感覚を活かしたいという方もいらっしゃるでしょうし、「学生時代にオリンピック・パラリンピックが開かれる」というのは一生に一度の貴重な機会だから、と応募された方もいらっしゃるものと思います。

それぞれの思いは、どれも素晴らしく真摯で貴重なものですので、私たちもその思いを受け止め、理解し尊重したいと思っています。

成蹊大学はオリンピック・パラリンピックボランティアへの参加を推奨して参りました。ボランティア支援センターも東京オリンピック・パラリンピックでのボランティア活動の経験が皆さんの成長につながり、また、今後のスポーツボランティア全体の発展に寄与する、という考えのもと、さまざまなイベントに組んで参りました。

そして、成蹊大学では、オリンピック・パラリンピックボランティアの研修その他で授業（授業内試験を含む）・定期試験を欠席しても、やむを得ない事情があるならば欠席と認めないようにする措置も講じることとして参りました。

しかし、今回のオリンピック・パラリンピックは、世界的にも新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックが収束しておらず、日本国内でも感染状況の動向が予断を許さないという異例の状況下で開催されようとしております。

現在、ボランティア支援センターでは、外部団体から成蹊大学の学生に対するボランティア募集に対しては一定の基準をクリアした感染対策を明示することを求めています。また、現在も感染防止の観点から、不特定多数を対象とした対人型のスポーツボランティアを学

生みなさんに紹介することをいっさい停止している状況です。

大変に残念なことに、この文章を発表している現在、オリンピック・パラリンピックでどのような感染対策がとられるかは、十分に具体的な内容が発表されておりません。これから対策はなされていくものと思いますが、少なくとも現在、発表されている内容は具体性を欠き、上記のボランティア支援センターが安全と判断している基準に達しているかどうかの判断ができない状況です。

現在、感染症が収束しないなかでの大学生のオリンピック・パラリンピック東京大会のボランティア参加に、全国の学生自身、学生のご家族の方がたが不安を感じておられることが伝えられており、これは成蹊大学も例外ではありません。

以上の点から考えますと、少なくとも現在の状況は、「オリンピック・パラリンピックボランティアに安心して行ってきなさい」と送り出せる状況ではないと私たちは判断しております。

もちろん、開催が近づいて大会の感染症対策も詳細に発表され、世界・日本の感染状況も変化するなど、状況は変化することと思います。

そこで、オリンピック・パラリンピックボランティアに参加しようと考えている学生のみなさんは、ひとまず早めにボランティア支援センターに連絡を取ってくださるようお願いいたします。今後、みなさんの元に送られてくるはずの感染対策が成蹊大学の感染対策の基準を満たしているか、の判断も必要です。

したがって、ボランティア支援センターと緊密な連絡を保つようにしていただきたいと思っています。

私たちは、学生のボランティアへの熱意と、学生の安全の両方を考慮し、その両方を最大限に尊重したいと思っています。

そのための情報収集にも全力をあげ、それに応じた対策を考え続けております。

以上の点をご理解の上、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

以上